

第8号様式（発展型総合事業、総合事業）

外交・安全保障調査研究事業費補助金

補助事業実績報告書

1. 基本情報	
事業者名 国立大学法人東京大学（先端科学技術研究センター）	
事業分野	※募集要領にある分野 A～C のいずれかを記入のこと。 A：国際政治及び国際情勢一般
事業名及び事業概要	※事業計画書の該当部分を転載のこと。 「体制間競争の時代における日本の選択肢：国際秩序創発に積極的関与を行うための政策提言・情報発信とそれを支える長期シナリオプランニング」
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入 () 1年間（令和 年度） () 2年間（令和 年度～令和 年度）（うち 年目） (○) 3年間（令和2年度～令和4年度）（うち1年目）
2 事業実施体制	
(1) 定量的概要 研究者数合計 61名（「事務局」を除く） うち若手（※）研究者数 39 名（全体の 63.9 %） （※）若手の定義については、各事業者の分類による（別紙1参照）。 うち女性研究者数 12 名（全体の 19.6 %） うち首都圏以外の研究者数 21 名（全体の 34.4 %） (2) 事業実施体制の詳細は別紙1に記入のこと。	
3 事業の実施状況・成果	
(1) 定量的概要 （総合事業、調査研究事業については該当するもののみ記入すること。） 【調査】	

- ・情報収集・調査実施回数： 52 回

(分科会会合の報告回数を集計)

【会議】

- ・研究会の実施数： 23 回 (分科会会合の実施数を集計)

- ・シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数： 18 回

(国際シンポジウム／セミナー、国内向け公開ウェビナーを含む。中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会と IGSDA との合同会合は研究会としても計上)

- ・他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数： 49 回

(委員の国際シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の登壇数を集計)

【情報発信】

- ・インタビューや報道発表の実施数： 2 回

- ・論文やコメントリーの発出数： 15 回 (既に原稿があり、公表予定のものを含む)

- ・政策提言を含む報告書の発出数： 1 回 (書籍出版)

主要なものにつき、審査委員や政府関係者などが閲覧できるよう URL (未発表のものは概要) を記載。 また、上記以外の情報発信 (メールマガジン配信、ウェビナー動画の発信など、独自に実施している情報発信) も記載可。

- ROLES 公式サイト

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

- You Tube ROLES チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UC8P_eA0Kc6hVeMcwS_W-GSw/videos

- ROLES 公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/%E6%9D%B1%E5%A4%A7%E5%85%88%E7%AB%AF%E7%A0%94%E5%89%B5%E7%99%BA%E6%88%A6%E7%95%A5%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%97%E3%83%B3%E3%83%A9%E3%83%9C-104391228337141>

- ROLES ウェブサイト英語版の広報ページ

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/events>

- 東京大学先端科学技術研究センター（RCAST）での広報（英語）

<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/news/events/index.html>

- 公開ウェビナー（2020 年 6 月 6 日）の記事（新潮社フォーサイト）

<https://www.fsight.jp/articles/-/47035>

- アラビア語での発信実績

<https://www.alroeya.com/author/3220/%D8%B3%D8%A7%D8%AA%D9%88%D8%B4%D9%8A-%D8%A5%D9%8A%D9%83%D9%88%D8%AA%D8%B4%D9%8A>

- 英語での発信の模様（IGSDA ウェブサイト）

<http://igsda.org/?cat=5>

その他の URL については別紙 2 に記載。

（2）事業の具体的な実施状況は別紙 2 に記載のこと。

（3）別紙 3 において、事業の定性的成果（①どのように取り組み、どのような成果があったか（工夫を凝らした点、従来事業から改善した点を含む）、②どの部分につき進展・成果が不十分であったか、その原因、次年度での改善方法）を具体的に記載のこと。

4 事業総括者による評価（2 ページ程度）

※事業総括者による事業の進展、成果についての評価コメントを記載。（特に、他の類似事業と比べてどのような新規性があったか、研究成果によりどのような新たな知見が得られたのか否か、これらがどう日本外交に資するのかを記載する。）

本事業では「大学内に外交・安全保障シンクタンクをつくる」ことを目標としている。

初年度は、このための組織づくりと体制づくりを大規模に行い、東大先端研内に外交・安全保障問題を研究するためのシンクタンクとして ROLES（RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies 先端研創発戦略研究オープンラボ）を創設し、本事業を強力に推進する母体組織を確立した。人員は年度内に研究者 8 名、事務補佐 3 名を確保し、若手の協力研究員 2 名も加わって、8 部屋の研究スペースを確保して、一定規模のシンクタンクを短期間で立ち上げることに成功した。

ROLES は中国・米国・中東・新領域セキュリティの 4 つの分科会を立ち上げ、国内外の最有力の研究者 60 名以上を組織し、年度内にそれぞれ 4 回以上の定期的な研究会と国際共同研究会を開催した。

それらの成果の一部は国内向けには日本語のオンライン・シンポジウム（ウェビナー）の形で3回公開し、国際的には有力研究機関との共催セミナーの形で発信した。国内向け公開されるシンポジウムでは一回あたり最大1000名に及ぶ参加者を集めた（2020年6月6日）。

さらに、国際的な研究交流・協議の場の設定を進め、3月には「イスラエル・ウィーク」を開催してテルアビブ大・ヘブライ大・イスラエル保健省・首相府サイバー防衛部局元幹部など、最先端の研究者と実務家を集めた国際研究大会をオンラインで開催した。

本事業の類似事業と比較しての特性は、大学とシンクタンクの利点を合成する点である。大学における研究は、新規の課題を発見し、それに対する知見を生み出していく。課題を発見するために、前提となる学問や認識の枠組みや、成果の判断基準・価値基準そのものを問い直し、創出していく。いわば「ゼロから1」を生む作業が多くを占める。大学における研究は、人材育成と一体で行われ、研究成果は、研究成果を生み出す研究者の育成と不可分である。国際交流は研究者の個人的なコネクションによって臨機応変にネットワーク的に形成される。これらは長期間にわたる永続的な関与を要する。ただし、大学における成果は、しばしば単年度では見えにくく、特定の予算・事業の期間内に全ての成果が現れるとも限らない。

それに対して、通常、シンクタンクは、既存の知見を幅広く結集し、総合し、政策につなげる作業を行う。主に単年度の事業・予算の枠内で行っていく。予想される一定期間内に可能な限り多くの知見を集約し、整理し、有用な部分を判別して、政策当局者による利用を容易にする。ただし、シンクタンクの研究成果の短期的な有用性・即時性は、長期的な人材育成や、新規の知見をゼロから想像する作業を十分に伴わないきらいがある。海外の諸機関との関係も、政府レベルでの政治的意思や予算がある範囲でのみ行われ、持続性が必ずしも保証されていない。

本事業は国立大学のインフラと制度を最大限に活用し、シンクタンクの有用性と即時性を兼ね備えるための制度設計と運用方法を定めた。それによって、新規の研究課題を見出してゼロから新しい知見を創出し、研究者間の国際的ネットワークを生かして過去に公式には行われてこなかった有力機関との関係構築を進めて最先端の情勢分析を行うと同時に、海外の研究機関やメディアに直接日本外交に関する情報発信を行っていく経路を確保した。

本事業によって設立された ROLES を主体として、これまでに日本の大学及びシンクタンクにおける調査研究活動において取り組みが遅れていた、イスラエルや UAE の大学・研究機関との研究協力関係の構築を推進した。コロナ禍の下での相互往来の困難という困難な条件を逆手に取り、活発・頻繁にリモート会議を行うことで、研究および協議の国際的な場の創出に成功した。イスラエルのテルアビブ大 MDC（モシェダヤン中東アフリカ研究センター）とは2回のラウンドテーブルを開催して中東情勢、特に米国の政権交代による中東政策の変化や、イスラエルと UAE など湾岸産油国との国交正常化

によって中東地域に及ぶ影響に関する最新の知見を集約した。イスラエル・ウィークではイスラエル保健省国際課長から COVID-19 に対するイスラエルのワクチン政策の最新動向を直に聴取し、イスラエル首相府サイバー防衛局の元高官からはイスラエルのサイバーセキュリティ政策の最新の知見を得た。

UAE の安全保障研究シンクタンクの IGSDA (Institute for Global Security and Defense Affairs) との共催によるオンライン国際セミナーを 4 回シリーズで開催し、紅海・アフリカの角や西アフリカを含む広域中東地域の新たな安全保障課題をめぐる最新の知見を得た。

これらの活動を通じて、ROLES は東京大学内に設立された外交・安全保障調査研究に特化したシンクタンクとして確立された。今後は、海外の同様の大学内シンクタンクとのセカンドトラック的な協議の場を形成するためのカウンターパートとして有用な役割を果たすことが期待される。本事業で組織した中国・米国・中東・新領域セキュリティの 4 分科会は、それぞれの分野に関する国内で最高峰・最先端の、かつ大部分が 40 代以下の若手・中堅研究者を集めている。これらの分科会の会合の多くは、外務省からのオブザーバー参加を歓迎しており、分科会の会合及び、ROLES を介した分科会委員への意見聴取により、日本外交に必要な学術的知見を、常時、必要な時に、短期間で集める回路が形成されたことになる。ROLES が構築しているイスラエルや UAE 等の海外の有力研究機関との関係は、従来の日本のシンクタンクが関係を構築してこなかった国・地域をカバーしている。今後も、これまでに関係構築が十分ではなかった地域・国の有力機関との交流を拡大し、日本外交におけるセカンドトラック協議の幅を広める役割を担いたい。

また、UAE のアラビア語の日刊紙や、UAE のシンクタンクのウェブサイトにて英語で常時、日本の視点からの外交安全保障問題に関する情報発信を行ってきたことにより、日本の外交姿勢を随時海外に向けて発信する常設的回路の確保に成功しつつある。トルコでの有力出版社からの外交・安全保障論の書籍の刊行も、日本外交の対外発信のこれまでにない試みである。これらの一旦開かれた経路を今後も継続的に利用し、日本の研究者や実務家の発信を海外の新聞・ウェブサイト・出版社に繋いでいくことで、ROLES は日本外交の国際発信力を、これまでにない経路を通じて、より現地社会に直結した形で、進めて行くことができる。

また、本事業の一環として開催した公開シンポジウム（ウェビナー）では、1000 名以上の参加登録者を得るなど、国内に幅広く外交・安全保障問題に関する知見を広め、日本外交の国内広報活動への一助をなした。

第8号様式 別紙1 事業実施体制の詳細

事業総括、分科会リーダー、研究担当、渉外担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割分担
総括班			
事業総括	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授（兼任・国際創発戦略調査研究センター・主幹）	・事業全体の総括 ・研究会、シンポジウム等の主宰
事業副総括	小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター特任助教（兼・国際創発戦略調査研究センター・副主幹）	・事業全体の研究面に関する総括
事業副総括	立田 由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員（兼・国際創発戦略調査研究センター・事務統括）	・事業の事務全体に関する総括
事業副総括	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター・シニア・プログラム・コーディネーター／特任研究員	・事業運営にかかる助言 ・外務省と大学事務との調整
事業副総括（全体会合座長）	坂元 一哉	大阪大学法学研究科教授（兼・国際創発戦略調査研究センター・顧問）	・全体会合のとりまとめ ・各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ

			・事業全体の内容に関する調査研究、発信等
中国・権威主義体制に関する分科会			
分科会座長／中国班班長	川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授	・分科会のとりまとめ ・中国の権威主義体制に関する調査研究、発信等
幹事／研究担当（同）	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター・シニア・プログラム・コーディネーター／特任研究員	・座長補佐、中国科学技術に関する調査研究
副幹事／研究担当（同）	田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・中国・新疆ウイグル問題に関する調査研究
中国班・研究担当（同）	松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授	・中国の権威主義体制に関する調査研究
中国班・研究担当（同）	岡本 隆司	京都府立大学文学部教授	・歴史的観点から見た中国の権威主義体制に関する調査研究
中国班・研究担当（同）	家永 真幸	東京女子大学現代教養学部准教授	・文化シンボル、パブリックディプロマシーに関する調査研究
中国班・研究担当（同）	鈴木 隆	愛知県立大学外国語学部准教授	・内政、習近平体制に関する調査研

			究
中国班・研究担当 (同)	山口 信治	防衛研究所地域研究部 中国研究室主任研究官	・戦浪外交、対外 関係に関する調査 研究
ロシア班班長・研究担 当 (同)	小泉 悠	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	・ロシア班のとり まとめ、ロシアの 主権思想に関する 調査研究、発信等
ロシア班・研究担当 (同)	西山 美久	北海道大学国際連携機 構特任助教	・ロシアのナショ ナリズムに関する 調査研究、発信等
ロシア班・研究担当 (同)	乗松 亨平	東京大学総合文化研究 科准教授	・ロシアの権威主 義体制に関する調 査研究、発信等
東南アジア班長・研究 担当 (同)	鈴木 絢女	同志社大学法学部教授	・東南アジア班の とりまとめ、東南 アジア諸国の政治 体制に関する調査 研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	青木 まき	アジア経済研究所地域 研究センター東南アジ ア I 研究グループグル ープ長代理	・タイに関する調 査研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	岡本 正明	京都大学東南アジア地 域研究研究所教授	・インドネシアに 関する調査研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	日下 渉	名古屋大学大学院国際 開発研究科准教授	・フィリピンに関 する調査研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	中西 嘉宏	京都大学東南アジア地 域研究研究所准教授	・ミャンマー・パ キスタンに関する 調査研究

北朝鮮班・研究担当 (同)	宮本 悟	聖学院大学政治経済学部教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員	・北朝鮮の権威主義体制に関する調査研究、発信等
中東・イスラーム世界のオルターティブに関する分科会			
分科会座長（中東・イスラーム世界のオルターティブに関する分科会）	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・分科会のとりまとめ・イスラーム的オルターナティブ思想に関する調査研究
幹事・研究担当（同）	立田由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・バルカンにおけるイスラーム復古主義に関する調査研究
副幹事・研究担当（同）	田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・中央アジア・トルコのウイグル政策に関する調査研究
分科会助手（同）	狩野希望	学習院大学非常勤講師	・イスラーム教神秘主義思想の動向に関する調査研究
研究担当（同）	菊地 達也	東京大学人文社会系研究科准教授	・シーア派のイスラーム的オルターナティブ思想に関する調査研究
研究担当（同）	岩瀬 昇	エネルギー・アナリスト 三井物産社友	・中東を中心とする資源エネルギー市場動向に関する調査研究

研究担当（同）	今井 宏平	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員	・トルコの対中東外交・対米および対中国外交等に関する調査研究
研究担当（同）	柿崎 正樹	テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部 上級准教授	・トルコの政治体制に関する調査研究
研究担当（同）	鈴木 均	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任研究員	・イランの政治体制に関する調査研究
研究担当（同）	山尾 大	九州大学比較社会文化研究院准教授	・イラクにおけるイスラーム的オルターナティブ思想に関する調査研究
研究担当（同）	吉岡 明子	日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究主幹	・クルド諸勢力の非国家主体をめぐる政治と国際関係に関する調査研究
研究担当（同）	小林 周	日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究員	・リビアの政治経済・エネルギー安全保障に関する調査研究
研究担当（同）	斎藤 純	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員	・UAE の政治経済に関する調査研究
研究担当（同）	廣瀬 陽子	慶應義塾大学教授	・コーカサスの政治経済に関する調査研究
研究担当（同）	東野 篤子	筑波大学准教授	・バルカン地域のEU とトルコとの国際関係に関する調査研究

			査研究
研究担当（同）	松本 佐保	名古屋市立大学教授	・バチカンの対中東外交、グローバルな宗教間国際政治に関する調査研究
研究担当（同）	平野 克己	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員	・アフリカの経済開発に関する調査研究
研究担当（同）	篠田 英朗	東京外国語大学教授	・中東・アフリカの平和構築に関する調査研究、コロナ問題の国際政治への影響に関する調査研究、発信等
研究担当（同）	本名 純	立命館大学教授	・インドネシアの政治と政軍関係におけるイスラーム主義勢力の影響に関する調査研究
研究担当（同）、現代ユダヤ・イスラーム思想哲学ネットワーク幹事	山城 貢司	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・現代のユダヤ教思想・イスラーム思想哲学の発展に関する調査研究、ヘブライ大等のユダヤ系学識者とのネットワーク形成
外部研究協力者（同）	サイイド・ゴネイム	グローバルセキュリティア防衛研究所長（UAE）	・エジプト及びUAEの中東地域安全保障体系構築へ

			の役割に関する知見の提供・海外での調査・シンポジウム参加の支援 (コネクションの提供等)
外部研究協力者 (同)	ウツィ・ラビ	テルアビブ大教授、モシェダヤン中東アフリカ研究センター所長 (イスラエル)	・イランの中東国際政治・各国国内政治 (イエメン・シリア等) への介入に関する知見の提供
米国・既存秩序の動揺に関する分科会			
分科会座長	坂元一哉	大阪大学大学院法学研究科教授	・分科会のとりまとめ ・トランプ政権の米国一国主義政策に関する調査研究 ・冷戦後の既存秩序の形成と再編及び日米関係の長期的将来像についての調査研究
幹事 (同)	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・米国の拡大中東地域におけるプレゼンスの変遷と、他の域外大国の関与の増大に関する調査研究、米・中東関係、米・イス

			ラエル関係の変容に関する調査研究
副幹事・研究担当 (同)	池田 有紀美	未来工学研究所研究員	・米国の技術安全保障政策に関する調査研究
研究担当 (同)	村田 晃嗣	同志社大学法学部教授	・米国政治の歴史的変動に関する調査研究
研究担当 (同)	待鳥 聡史	京都大学大学院法学研究科教授	・米国政治の制度 ・構造変動に関する調査研究
研究担当 (同)	中山 俊宏	慶應義塾大学総合政策学部教授	・米トランプ政権の米国一国主義政策に関する調査研究
研究担当 (同)	小谷 哲男	明海大学外国語学部教授	・米トランプ政権下における秩序観の変容に関する調査研究
研究担当 (同)	鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授	・EU 諸国における秩序観の変容、米欧関係の変容に関する調査研究
研究担当 (同)	瀧井 一博	国際日本文化研究センター教授	・グローバル化の中での国家と地方の関係に関する調査研究
研究担当 (同)	高橋 慶吉	大阪大学大学院法学研究科准教授	・戦後米国の東アジア政策に関する調査研究

研究担当（同）	鍛冶 一郎	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	・ 日米同盟の歴史 に関する調査研究 及びデータベース 作成
研究担当（同）	小島 吉之	帝塚山大学非常勤講師	・ 日米の情報協力 に関する調査研究
研究担当（同）	杉田 弘毅	共同通信社特別編集委 員	・ 米国・欧州等に おける既存秩序の 動揺に関する調査 研究 ・ トランプ政権の 対中・対イラン経 済制裁に関する最 新の動向調査研究
新領域セキュリティの諸課題に関する分科会			
分科会座長（新領域セ キュリティの諸課題に 関する分科会）	小泉 悠	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	・ 分科会のとりま とめ ・ 新領域の安全保 障に関する調査研 究
幹事・研究担当（同）	池田 有紀美	未来工学研究所研究員	・ 量子技術と安全 保障に関する調査 研究
研究担当（同）	佐橋 亮	東京大学東洋文化研究 所准教授	・ 米中大国間関係 に関する調査研究
研究担当（同）	鈴木 一人	東京大学公共政策大学 院教授、東京大学先端 科学技術研究センター 客員研究員	・ 宇宙・サイバー ・ 感染症をめぐる 国際安全保障に関 する調査研究
研究担当（同）	飯塚 恵子	読売新聞編集委員	・ 諸外国のシャー

			プパワーと既存秩序の側の対応に関する調査研究
研究担当（同）	栞原 響子	日本国際問題研究所研究員	・シャープパワーに関する調査研究
研究担当（同）	小宮山功一朗	一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 国際部部長	・サイバーセキュリティに関する調査研究
研究担当（同）	高森 雅和	株式会社電通シニアソリューションディレクター	・SNS を中心としたメディア戦略に関する調査研究
研究担当（同）	中井 治郎	龍谷大学社会学部非常勤講師	・グローバルな人間の移動が外交・安全保障政策に及ぼす影響に関する観光社会学からの調査研究、ポスト・インバウンドのグローバル・ツーリズムに関する調査研究
研究担当（同）	中井 遼	北九州市立大学政策科学学科准教授	・バルト三国におけるロシアのシャープパワー行使に関する調査研究、発信等
研究担当（同）	松本 充豊	京都女子大学現代社会学部教授	・中国のシャープパワー行使に関する調査研究
研究担当（同）	山口 亮	釜山国立大学客員教授	・エマージングテ

			クノロジーと安全保障に関する調査研究
外部研究協力者（同）	村野 将	ハドソン研究所研究員 （米国滞在中）	・ シャープパワーに対する米国の抑止政策及び日米の安全保障に関する知見の提供 ・ 海外での調査・シンポジウム参加の支援（コネクションの提供等）
関西クラスタ PJT（4 分科会横断の関西在住の研究者を中心とした分科会）			
研究担当（同）	坂元 一哉	大阪大学大学院法学研究科教授	社会科学における文明論と「京都学派」の可能性について
研究担当（同）	岡本 隆司	京都府立大学文学部教授	「中華」に対峙する日本文化・文明の可能性について
研究担当（同）	村田 晃嗣	同志社大学法学部教授	表象・映像文化が国際政治にもたらす影響に関して
研究担当（同）	待鳥 聡史	京都大学大学院法学研究科教授	中央・地方関係の比較制度論的多国間比較
研究担当（同）	瀧井 一博	国際日本文化研究センター教授	日本近代政治史における中央・地方関係の歴史的考察と現状分析

研究担当（同）	中井 治郎	龍谷大学社会学部非常勤講師	ポスト・インバウンドの時代における京都の観光戦略の定時・定点観測と分析
研究担当（同）	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	地域分散型アカデミアの創生とその手法に関する実践的考察
コロナ問題 PJT（4 分科会横断のコロナ問題を扱う分科会）			
研究担当（同）	篠田 英朗	東京外国語大学教授	コロナ問題の大陸間比較に関する調査研究
研究担当（同）	松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授	台湾のコロナ対策・東アジアモデルに関する調査研究
研究担当（同）	宮本 悟	聖学院大学政治経済学部教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員	北朝鮮のコロナ政策・閉鎖国モデルに関する調査研究
研究担当（同）	中井 治郎	龍谷大学社会学部非常勤講師	コロナ問題が日本の観光戦略に及ぼす影響、ポスト・インバウンドのグローバル・ツーリズムと日本の国際観光戦略に関する調査研究
研究担当（同）	待鳥 聡史	京都大学大学院法学研究科教授	コロナ対策の比較政治学に関する調

			査研究
研究担当（同）	鈴木 均	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任 研究員	コロナのイランの 体制への影響に関 する調査研究
研究担当（同）	池内 恵	東京大学先端科学技術 研究センター教授	コロナ感染・対策 の中東モデルに関 する調査研究
事務局			
総務・経理担当	江頭 裕士	東京大学 先端科学技 術研究センター財務チ ーム外部資金担当	・事業全体の総務 ・経理
総務・経理担当	三宅 由美子	東京大学先端科学技術 研究センター事務補佐 員	・事業内容に関す る総務・経理 ・事業内容に関す る渉外
総務・経理担当	表 真琴	東京大学先端科学技術 研究センター事務補佐 員	・事業内容に関す る総務・経理 ・事業内容に関す る渉外

第8号様式 別紙2

1. 基礎的情報収集・調査研究

(1) 中国・権威主義体制に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2020年8月7日（金）10：00～11：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】17名

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員]（五十音順）

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

岡本 隆司 京都府立大学教授

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授

田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授

松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授

宮本 悟 聖学院大学教授・東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

【概要】

参加者全員が自身の研究テーマを中心に自己紹介を行い、その後川島座長から事業概要の説明、及び1年目の研究計画が示された。

② 第2回会合

【日時】

2020年10月23日（金）15：00～17：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】22名

〔報告者〕

岡本 隆司	京都府立大学教授
西山 美久	北海道大学国際連携機構特任助教
宮本 悟	聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

〔出席者〕

[座長]

川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授
------	------------------

[委員]（五十音順）

青木 まき	アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理
家永 真幸	東京女子大学現代教養学部准教授
伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター
小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
鈴木 絢女	同志社大学法学部教授
鈴木 隆	愛知県立大学外国語学部准教授
田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
乗松 亨平	東京大学総合文化研究科准教授
松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授
山口 信治	防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授
------	--------------------

ほか、外務省より 5 名出席。

【概要】

「内在論理」の共通テーマの下、岡本（隆司）委員より「東アジア漢語圏の歴史的『内在論理』——『琉球』を事例に」、西山委員より「歴史認識を巡るロシアの内在論理」、宮本委員より「北朝鮮の内在論理: 歴史観の変化とナショナリズム形成」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論した。

③ 第 3 回会合

【日時】

2020 年 11 月 5 日（木）10 : 00～12 : 00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】27 名

〔報告者〕

松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授
日下 渉	名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

〔ディスカッサント〕

家永 真幸	東京女子大学現代教養学部准教授
鈴木 絢女	同志社大学法学部教授

〔出席者〕

[座長]

川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授
------	------------------

[委員]（五十音順）

青木 まき	アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理
伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター
岡本 隆司	京都府立大学教授
岡本 正明	京都大学東南アジア地域研究研究所教授
小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
鈴木 隆	愛知県立大学外国語学部准教授

田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
中西 嘉宏	京都大学東南アジア地域研究研究所准教授
西山 美久	北海道大学国際連携機構特任助教
宮本 悟	聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
山口 信治	防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

ほか、外務省より 10 名出席。

【概要】

「内外政の相互作用」の共通テーマの下、松田委員より「習近平政権の内政と外交政策の相互作用試論」、日下委員より「ドゥテルテ政権は何をしたいのか？——エリート間抗争から見るフィリピンの外交」と題する報告がなされた。報告に対し家永委員、鈴木委員よりコメントがなされたのち、出席者間で討論が行われた。

④ 第 4 回会合

【日時】

2020 年 12 月 29 日（火）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】24 名

〔報告者〕

家永 真幸	東京女子大学現代教養学部准教授
中西 嘉宏	京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

〔ディスカッサント〕

松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授
青木 まき	アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員] (五十音順)

伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター
岡本 隆司	京都府立大学教授
岡本 正明	京都大学東南アジア地域研究研究所教授
日下 渉	名古屋大学大学院国際開発研究科准教授
小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
鈴木 絢女	同志社大学法学部教授
鈴木 隆	愛知県立大学外国語学部准教授
田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
西山 美久	北海道大学国際連携機構特任助教
乗松 亨平	東京大学総合文化研究科准教授
宮本 悟	聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
山口 信治	防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

ほか、外務省より 6 名出席。

【概要】

「政治的正当性と人権・価値」を共通テーマに、家永委員より「台湾民主化の外国要因に関する初歩的検討」、中西委員より「ロヒンギャ危機で揺れるミャンマー外交の行方」と題する報告がなされた。報告に対し、松田委員、青木委員よりコメントがなされたのち、出席者間で討論が行われた。

⑤ 第 5 回会合

【日時】

2021 年 1 月 20 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者】 21 名

〔報告者〕

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

〔ディスカッサント〕

日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員] (五十音順)

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

岡本 隆司 京都府立大学教授

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授

田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授

松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

ほか、外務省より4名出席。

【概要】

「自国認識・国際認識」を共通テーマに、青木委員より「タイの国内対立：その対外関係への影響」、山口委員より「中国の和平演変論とイデオロギーをめぐる闘争」と題する報告がなされた。報告に対し、松田委員、青木委員よりコメントがなされたのち、出席者間で討論が行われた。

⑥ 第6回会合

【日時】

2021 年 2 月 24 日（水）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】29 名

〔報告者〕

乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授
川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

〔出席者〕

[委員]（五十音順）

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター
岡本 隆司 京都府立大学教授
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

[オブザーバー]

外務省より 14 名出席。

【概要】

「歴史認識」を共通テーマに、乗松委員より「ユーラシア主義の歴史的・地域的展開」、鈴木委員より「中国・習近平氏の政治認識、リーダーシップ、政治家像：地方指導者時代を中心に」、川島座長より「習近平政権下中国の歴史政策 –『四史』の提唱と共産党中心史観」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

(2) 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2020年8月31日(月) 13:00～14:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者】18名

[座長]

池内恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[幹事・副幹事]

立田由紀恵(幹事) 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

田中周(副幹事) 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員](五十音順)

今井 宏平	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員
岩瀬 昇	エネルギー・アナリスト 三井物産社友
柿崎 正樹	テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部 上級准教授
狩野 希望	学習院大学非常勤講師
菊地 達也	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
斎藤 純	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員
篠田 英朗	東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
鈴木 均	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任研究員
東野 篤子	筑波大学人文社会系准教授
平野 克己	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員
廣瀬 陽子	慶應義塾大学総合政策学部教授
松本 佐保	名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授
山尾 大	九州大学比較社会文化研究院准教授
山城 貢司	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
吉岡 明子	日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究員

【概要】

参加者全員が、自身の研究テーマを中心に自己紹介を行ったのち、池内座長より、今後の進め方が提示され、出席した委員より質疑応答が行われた。

※2回目以降の中東分科会は、以下2.に記載の通り、アラブ首長国連邦アブダビのシンクタンク Institute for Global Security & Defense Affairs (IGSDA) との共催で実施した。

(3) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2020年8月31日(月) 10:00～11:10

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者】15名

[座長]

坂元 一哉 大阪大学大学院法学研究科教授

[幹事・副幹事]

池内 恵(幹事) 東京大学先端科学技術研究センター教授

池田 有紀美(副幹事) 未来工学研究所研究員

[委員] (五十音順)

鍛冶 一郎 大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任研究員

小島 吉之 帝塚山大学非常勤講師

小谷 哲男 明海大学外国語学部教授

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員

高橋 慶吉 大阪大学法学研究科准教授

瀧井 一博 国際日本文化研究センター教授

鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

中山 俊宏 慶應義塾大学総合政策学部教授

待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

[オブザーバー]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

【概要】

参加者全員が、自身の研究テーマを中心に自己紹介を行ったのち、池内座長より、今後の進め方が提示され、出席した委員より質疑応答が行われた。

② 第2回会合

【日時】

2020年9月23日（水）13：00～15：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】11名

〔報告者〕

高橋 慶吉 大阪大学法学研究科准教授

〔出席者〕

[座長]

坂元 一哉 大阪大学大学院法学研究科教授

[幹事・副幹事]

池内 恵（幹事） 東京大学先端科学技術研究センター教授

池田 有紀美（副幹事） 未来工学研究所研究員

[委員]（五十音順）

小島 吉之 帝塚山大学非常勤講師

小谷 哲男 明海大学外国語学部教授

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員

鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

中山 俊宏 慶應義塾大学総合政策学部教授

待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

[オブザーバー]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

【概要】

冒頭、高橋委員から、「コロナ・パンデミックとアメリカ」と題し、米国トランプ政権のコロナ危機対応について、滞在時の経験も織り交ぜつつ、過去の政権の対応と比較して分析する報告がなされた。続いて、出席委員との間で質疑応答が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2020年10月30日（金）09：00～11：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】11名

〔報告者〕

待鳥 聡史	京都大学大学院法学研究科教授
村田 晃嗣	同志社大学法学部教授
小谷 哲男	明海大学外国語学部教授
坂元 一哉	大阪大学大学院法学研究科教授

〔出席者〕

[幹事・副幹事]

池内恵（幹事）	東京大学先端科学技術研究センター教授
立田由紀恵（副幹事）	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員]（五十音順）

小島 吉之	帝塚山大学非常勤講師
杉田 弘毅	共同通信社特別編集委員
高橋 慶吉	大阪大学大学院法学研究科准教授
瀧井 一博	国際日本文化研究センター教授
鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授

【概要】

冒頭、池内幹事より本会合の企画趣旨についての説明がなされた後、待鳥委員より「トランプ政権における連続と逸脱—政治制度と亀裂構造から考える—」、村田委員より「歴史の中のトランプ外交」、小谷委員より「軍事・安全保障政策と世界秩序」坂元一哉座長より「文明史的

観点から構想するトランプ政権と日米関係の将来」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

④ 第4回会合

【日時】

2021年3月18日（木）13：00～15：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】

〔報告者〕

鍛冶 一郎 大阪大学 Co デザインセンター招へい研究員

〔出席者〕

[幹事・副幹事]

池内恵（幹事）東京大学先端科学技術研究センター教授

[委員]（五十音順）

小島 吉之	帝塚山大学非常勤講師
小谷 哲男	明海大学外国語学部教授
杉田 弘毅	共同通信社特別編集委員
高橋 慶吉	大阪大学大学院法学研究科准教授
瀧井 一博	国際日本文化研究センター教授
鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授
待鳥 聡史	京都大学大学院法学研究科教授

【概要】

冒頭、池内幹事が、分科会の1年間のまとめと今後の運営の方向性、及び当座の座長（代行）として村田晃嗣同志社大学教授の就任について連絡がなされた。続いて鍛冶委員より「安保条約の条約期限と日米同盟」と題する報告が行われ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

(4) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2020年8月26日(水) 10:00～12:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者】14名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員] (五十音順、敬称略)

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田 有紀美 未来工学研究所研究員

栞原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター国際部部長

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

高森 雅和 株式会社電通シニアソリューションディレクター

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

【概要】

冒頭、小泉座長から、本事業の概要、本分科会の発足の経緯及び「21世紀を見通すため、科学技術と安全保障というテーマを包含しつつ、より広範に安全保障に変容を及ぼすファクターを洗い出し、その検討を踏まえて日本のとるべき行動を分析し政策提言を行う」という本分科会の問題意識について説明がなされ、共同研究の方向性について共有が図られた。続いて参加

者全員が、自身の研究テーマを中心に自己紹介を行った後、小泉座長より今後の進め方について説明がなされた。

② 第2回会合

【日時】

2020 年 10 月 14 日（水）10:00－12:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】22 名

〔報告者〕

池田 有紀美 未来工学研究所研究員、東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

〔出席者〕

[座長]

小泉悠 東京大学 先端科学技術研究センター 特任 助教

[委員]（五十音順、敬称略）

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

栞原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター国際部部長

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

高森 雅和 株式会社電通シニアソリューションディレクター

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

伊藤 和歌子 東京大学先端科学技術研究センター シニア・プログラム・コーディネーター

ほか、外務省より 10 名が出席した。

【概要】

冒頭、小泉座長より開会の挨拶の後、池田委員より「量子技術と安全保障」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2020年12月21日（月）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】23名

〔報告者〕

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 国際部部長
高森 雅和 株式会社電通シニアソリューションディレクター

〔出席者〕

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員]（五十音順）

栞原 響子 日本国際問題研究所研究員
佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授
鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員
中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師
中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授
松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授
村野 将 ハドソン研究所研究員
山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

伊藤 和歌子 東京大学先端科学技術研究センター シニア・プログラム・コーディネーター
（幹事代理）

ほか、外務省より11名が参加した。

【概要】

「世論形成とサイバー安全保障」との共通テーマのもと、小宮山委員より「サイバー空間の安全保障とトリレンマ」、高森委員より「世論形成とサイバー安全保障—SNS での世論形成について—」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

④ 第4回会合

【日時】

2020 年 1 月 22 日（金）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】32 名

〔報告者〕

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

栞原 響子 日本国際問題研究所研究員

〔出席者〕

[座長・幹事]

小泉 悠（座長） 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

池田 有紀美（幹事） 未来工学研究所研究員、東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

[委員]（五十音順）

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 国際部部長

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員

高森 雅和 株式会社電通シニアソリューションディレクター

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

伊藤 和歌子 東京大学先端科学技術研究センター シニア・プログラム・コーディネーター
（幹事代理）

ほか、外務省より 20 名が参加した。

【概要】

「パブリックディプロマシー／シャープパワー／影響力作戦」との共通テーマのもと、飯塚委員より「シャープパワーをめぐる論点」、栞原委員より「人間の認知をめぐる国家間対立—曖昧化する戦闘領域と多様化する外部要因—」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

⑤ 第5回会合

【日時】

2020年1月22日（金）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】25名

〔報告者〕

村野 将	ハドソン研究所研究員
山口 亮	釜山国立大学客員教授

〔出席者〕

[座長]

小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
------	----------------------

[委員]（五十音順）

飯塚 恵子	読売新聞編集委員
栞原 響子	日本国際問題研究所研究員
小宮山 功一朗	一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 国際部部長
鈴木 一人	東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員
高森 雅和	株式会社電通シニアソリューションディレクター
中井 治郎	龍谷大学社会学部非常勤講師
松本 充豊	京都女子大学現代社会学部教授

[オブザーバー]

伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニア・プログラム・コーディネーター (幹事代理)
--------	---

ほか、外務省より 14 名が参加した。

【概要】

「新興技術と安全保障」との共通テーマのもと、村野委員より「先端技術と抑止・戦略的安定のパラダイム変化―極超音速兵器と A I を中心に」、山口委員より「軍事近代化と非対称戦」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

⑥ 第 6 回会合

【日時】

2021 年 3 月 26 日（木）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】17 名

〔報告者〕

中井 治郎	龍谷大学社会学部非常勤講師
中井 遼	北九州市立大学政策科学科准教授

〔出席者〕

[座長・幹事]

小泉 悠（座長）	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
池田 有紀美（幹事）	未来工学研究所研究員、東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

[委員]（五十音順、敬称略）

飯塚 恵子	読売新聞編集委員
栞原 響子	日本国際問題研究所研究員
小宮山 功一朗	一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 国際部部長
佐橋 亮	東京大学東洋文化研究所准教授
鈴木 一人	東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員
高森 雅和	株式会社電通シニアソリューションディレクター
松本 充豊	京都女子大学現代社会学部教授
村野 将	ハドソン研究所研究員
山口 亮	釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

外務省より 4 名が参加した。

【概要】

「社会と外国人の関わりが安全保障に及ぼす影響力」との共通テーマのもと、中井治郎委員より「外国人嫌いの社会学～オーバーツーリズムの視点から」、中井遼委員より「バルト諸国とロシアのセキュリティ環境：情報戦と電子線の一前線として」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

(5) 関西クラスターPJT

① 第1回会合（米国・既存秩序の動揺に関する分科会との合同で実施）

【日時】

2020 年 7 月 27 日（月） 11:00~13:00

【場所】

堀川会議室（京都府京都市上京区堀川出水上ル柁屋町 28 （堀川商店街内））

【参加者】12 名

〔報告者〕

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

〔出席者〕

[委員]

坂元 一哉 大阪大学大学院法学研究科教授

瀧井 一博 国際日本文化研究センター教授・副所長

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

村田 晃嗣 同志社大学教授

待鳥 聡史 京都大学法学研究科大学院教授

岡本 隆司 京都府立大学教授

[オブザーバー]

山内 典子 公益財団法人サントリー文化財団

橋本 淳一 公益産業研究調査会・『公研』編集部

佐久間 卓也 京都新聞社記者

ほか、外務省より 1 名がオンラインより出席した。

【概要】

冒頭、池内委員より本分科会の設立趣旨について説明がなされた後、中井委員より「ポスト・インバウンドの京都：新たな観光・文化戦略を求めて」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

(6) コロナ問題 PJT

- ① 第1回会合（中国・権威主義体制に関する分科会及び米国・既存秩序の動揺に関する分科会との共同実施）

【日時】

2020年8月8日 13:00－15:00

【参加者】11名

池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授
今井 宏平	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員
宇山 智彦	北海道大学スラブ研究センター教授
田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
尾崎 孝宏	鹿児島大学法文学部教授
舩方 周一郎	東京外国語大学世界言語社会教育センター講師
伊豆山 真理	防衛研究所理論研究部長
平野 克己	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員
上 英明	東京大学 大学院総合文化研究科准教授
早川 理恵子	元笹川平和財団プロジェクトコーディネーター

【概要】

本会合は『UP plus 新興国から見るアフターコロナの時代 米中対立の間に広がる世界』（東大出版会より2021年5月に刊行予定）の主要執筆者を一同に集めて開催された。第1セッション「コロナ下での中東・中央アジアの国際政治」（報告者：川島教授、池内教授、今井研究院、宇山教授、田中研究院、尾崎教授）、第2セッション「コロナ下でのBRICSプラスの国際政治」（報告者：舩方講師、伊豆山部長、平野研究員、上准教授）、第3セッション「コロナ下での米中対立と小国の対応」（報告者：早川氏）が行われたのち、それを受けて出席者間で討論が行われた。

2. シンクタンク・有識者との討論等の実施

(1) 駐日イスラエル大使館との共催による国際セミナー

【日時】

2020年6月9日（火）16:00～18:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】総勢76名

〔登壇者〕

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授)

岩瀬 昇 エネルギーアナリスト、元三井石油開発顧問)

アミット・モル (Amit Mor) CEO, Eco Energy Financial & Strategic Consulting Ltd.

イタイ・タグナー (Itay Tagner) Special Envoy on Energy, Israel Ministry of Foreign Affairs

【概要】

冒頭で本セミナー開催を援助した駐日イスラエル大使館への謝意が示され、コロナ下における各国のエネルギー政策に対するイスラエル・エネルギー省による調査動向、ならびにイスラエル側登壇者の紹介がなされた。続いて、モル氏より「Changes in the International and Israeli Energy & Transportation Markets: What Have We Learned from the Coronavirus?」、岩瀬氏より「Trends of Energy Market in the Recovery from Lockdowns and Oil Price War」と題する報告がなされた。これを受けて、白井俊行・経済産業省 新エネルギーシステム課長、岡田江平・経済産業省・大臣官房審議官、イタイ・タグナー氏よりコメントがなされたのち、出席者による全体討論が行われた。本セミナーを通じて、コロナ禍における世界の石油市場の動向について日本とイスラエルの産官学界の有識者間で互いの認識が共有されると共に、エネルギー分野における日イスラエル協力の方向性について議論することができた。

(2) 東大先端研とイスラエル・シンクタンク「SIGNAL (Sino-Israel Global Network and Academic Leadership)」との共催による国際セミナー

中国問題と対米関係を専門とする民間シンクタンク「SIGNAL (Sino-Israel Global Network and Academic Leadership)」と、対中関係について日・イスラエルで協議するブリーフィング・セッション、及び「インド太平洋戦略」をめぐるイスラエル・米・欧パネリストを中心としたセッションを開催した。

① 第1回セミナー（招待者に公開）

【日時】

2020年7月28日（火）18：00～20：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【出席者】21名

〔登壇者〕

【日時】

2020年7月28日（火）18：00～20：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【出席者】21名

〔登壇者〕

（イスラエル側）

- ・ **Mr. Ehud Yaari**, Lafer International fellow of The Washington Institute, journalist
- ・ **Dr. Hay Eytan Cohen Yanarocak**, researcher at the Moshe Dayan Center for Middle Eastern and African Studies at Tel Aviv University
- ・ **Mr. Pinchas Landau**, Consultant and a founder of the Pinchas Report
- ・ **Ms. Ksenia Svetlova**, Senior Research Fellow at the Institute for Policy and Strategy of Interdisciplinary Center Herzliya and Senior Policy Fellow at the “Mitvim” Institute for Foreign Policy
- ・ **Major General (Ret.)**, Yaacov Amidror, Anne and Greg Rosshandler Senior Fellow at the Jerusalem Institute for Strategic Studies, and a Distinguished Fellow of JINSA's Gunder Center in Washington, former National Security Advisor to the P.M of Israel and the Head of the National Security Council (April 2011- November 2013)
- ・ **Prof. Meir Litvak**, Chair, Department of Middle Eastern and African History, Tel Aviv University, former Director of Alliance Center for Iranian Studies, Tel Aviv University

（日本側）

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授
高原 明生 東京大学大学院法学政治学研究科教授

小原 凡司 笹川平和財団上席研究員
飯田 将史 防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長
篠田 英明 東京外国語大学教授
鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

〔オブザーバー〕

岡田 江平 経済産業省貿易協力局審議官
田村 亮平 経済産業省中東アフリカ課長
杉田 弘毅 共同通信特別編集委員
三上 陽一 在安から日本大使館公使
布施 哲史 INPEX ソリューションズ主任研究員
木村 裕美 INPEX ソリューションズ企画調査部長
森 義雅 INPEX グループ
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要】

「中東における中国のプレゼンス拡大に伴う地域安全保障（Regional security as China's presence grows in the Middle East）」との共通テーマのもと、中東の立場についてイスラエル登壇者が、中国の立場について日本側登壇者がそれぞれ自身の見解を述べた後、出席者全員で討論を行った。

② 第2回セミナー（非公開）

【日時】

2020年11月23日（月）22:00～：24:00

【参加者】25名

〔登壇者〕

（海外側）

Moderator:

Ms. Carice Witte, Founder & Executive Director, SIGNAL

Discussants:

- **Amb. Bilahari Kausikan**, Chairman, Middle East Institute, National University
- of Singapore; Former Permanent Secretary of Singapore's Ministry of Foreign Affairs
- **Mr. Richard McGregor**, Senior Fellow, Lowy Institute; Former Beijing & Washington Bureau

Chief for the Financial Times

- **Mr. Andrew Small**, Senior Transatlantic Fellow, Asia Program, German Marshall Fund of the US; Non-Resident Senior Policy Fellow, European Council on Foreign Relations
- **Mr. Jeffrey Payne**, Research Fellow and Academic Affairs Manager, Near East South Asia Center for Strategic Studies (NESA), National Defense University

(日本側)

鶴岡路人 (慶應義塾大学准教授)

池内恵 (東京大学教授)

(3) テルアビブ大モシェダヤン中東アフリカ研究センター及び東アジア学科との共催によるラウンドテーブルの開催

【日時】

2020年12月2日(水) 22:00-0:00 (現地時間: 15:00-17:00)

【開催形式】

オンライン (Zoom)

【参加者】

〔登壇者〕

(イスラエル側)

- **Uzi Rabi**, Director, MDC, Tel Aviv University
- **Brandon Friedman**, Director of Research, MDC, Tel Aviv University
- **Ori Sela**, Department of East Asian Studies, Tel Aviv University
- **Liora Hendelman-Baavur**, Director of the Alliance Center for Iranian Studies at Tel Aviv University
- **Joshua Krasna**, MDC, Tel Aviv University
- **Yoel Kornreich**, Department of East Asian Studies, Tel Aviv University
- **Benjamin Katzeff-Silberstein**, Department of East Asian Studies, Tel Aviv University

(日本側)

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員

鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

高原 明生	東京大学大学院法学政治学研究科教授
松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授
辻田 俊哉	東京大学先端科学技術研究センター特任助教
松本 佐保	名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授
小林 周	日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員
杉田 弘毅	共同通信社特別編集委員
斎藤 純	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

〔オブザーバー〕

テルアビブ大 MDC の研究者、テルアビブ大の学生が 5 名、外務省、経産省より 12 名が参加した。

【概要】

「コロナウイルスと米中対立の狭間における東アジアと中東（After the U.S. Presidential Election: East Asia and the Middle East between the Coronavirus and the Sino-American Rivalry）」をテーマとして、日本側（鈴木教授、川島教授、鶴岡准教授）とイスラエル側（Liora Hendelman-Baavur 氏、Yoel Kornreich 氏、Benjamin Katzeff-Silberstein 氏）より報告がなされたのち、出席者間で自由討論を行った。

（４） UAE アブダビのシンクタンク Institute for Global Security & Defense Affairs （IGSDA）との共催による共同研究会（全 4 回）の開催

前述のとおり、IGSDA との共催による本 4 回の国際セミナーは、中東分科会の第 2～第 5 回会合として実施した。

- ① 第 1 回セミナー（中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会第 2 回会合）

【日時】

2021 年 1 月 22 日（金）15：00～17：20

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】 67 名

〔中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会〕

[座長]

池内恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[幹事・副幹事]

立田由紀恵（幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

田中周（副幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員]（五十音順）

今井 宏平 日本貿易機構アジア経済研究所研究員

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友

小林 周 日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

齋藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

辻田 俊哉 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

豊田 耕平 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

東野 篤子 筑波大学人文社会系准教授

松本 佐保 名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授

吉岡 明子 日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究主幹

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員

鈴木 均 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

[IGSDA]

Marc Lavergne, National Center for Scientific Research, Department of Arab and Mediterranean Studies, University of Tours

Eric Michiels, Defense Attaché of Belgium, NATO and EU to GCC countries, Abu Dhabi

Sayed Ghoneim, Senior Strategist and Chairman, Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA), Abu Dhabi/Cairo

[オブザーバー]

外務省本省・経済産業省本省及び、中東諸国の在外公館勤務の外交官や各国の日本貿易振興機構（ジェトロ）配属の産業調査員等から、合計 50 名が出席した。

【概要】

本会合は「紅海・アフリカの角地域の地政学的競合」をテーマに掲げ開催された。冒頭、池内座長より本企画の趣旨説明がなされると、続いて IGSDA 理事長のサイド・ゴネイム氏から、イスラエル・湾岸諸国の「正常化」および湾岸協力理事会（GCC）内部のカタールをめぐる紛争沈静化に関する問題提起がなされた。その上で、第一報告としてマルク・ラヴェルニ氏

より紅海・アフリカの角地域の地政学的競合に関して、第二報告としてエリック・ミシェル氏より地政学的競合のアクターである米、中、露の軍事・安全保障、経済、外交・政治、文化・ICT分野における影響に関して、第三報告としてサイード・ゴネイム氏より、リージョナル・アクターとしての非アラブ諸国（イスラエル、イラン、トルコ）、アラブ諸国（サウジアラビア、UAE、エジプト、カタール）、エチオピアの政治経済、軍事、ICT分野での地政学的競合の動態に関して報告がなされ、その後出席者全員で討論が行われた。

② 第2回セミナー（中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会第3回会合）

【日時】

2021年2月12日（金）15:00～17:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】89名

〔中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会〕

[座長]

池内恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[幹事・副幹事]

立田由紀恵（幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

田中周（副幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員]（五十音順）

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友

柿崎 正樹 テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部上級准教授

小林 周 日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

齋藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授、同先端科学技術研究センター客員研究員

鈴木 均 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

辻田 俊哉 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

東野 篤子 筑波大学人文社会系准教授

廣瀬 陽子 慶應義塾大学総合政策学部教授

松本 佐保 名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授
山尾 大 九州大学比較社会文化研究院准教授
吉岡 明子 日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究主幹

[IGSDA]

Umberto Profazio, Maghreb Analyst at the NATO Defense College Foundation and Associate Fellow at the International Institute for Strategic Studies (IISS)

Eric Michiels, Defense Attaché of Belgium, NATO and EU to GCC countries, Abu Dhabi

"European Interests and Involvements in the East Mediterranean Sea"

Sayed Ghoneim, Senior Strategist and Chairman, Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA)

[オブザーバー]

外務省本省・経済産業省本省及び、中東諸国の在外公館勤務の外交官や各国の日本貿易振興機構（ジェトロ）配属の産業調査員等、合計 70 名が出席した。

【概要】

本会合は「東地中海地域における戦略的競合」をテーマに掲げ開催された。第一報告としてウンベルト・プロファツィオ氏より、地政学、IS の展開、EU の関与、紛争の国際化、東地中海の EEZ をめぐる紛争とのリンケージ、紛争継続のシナリオの各側面からみたリビア内戦に関して、第二報告としてエリック・ミシェル氏より、EU の共通安全保障防衛政策の視点からみた移民問題と東地中海で生じる紛争の関係に関して、第三報告でサイド・ゴネイム氏より東地中海地域のガス田・パイプライン等をめぐるトルコ、イスラエル、エジプトなどの地域大国の競合に関して報告がなされ、その後出席者全員で討論が行われた。

③ 第 3 回セミナー（中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会第 4 回会合）

【日時】

2021 年 2 月 26 日（金）15 : 00～17 : 00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】

[中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会]

[座長]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[幹事・副幹事]

立田 由紀恵（幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

田中 周（副幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員]（五十音順）

今井 宏平 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友

柿崎 正樹 テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部上級准教授

小林 周 日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

齋藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

篠田 英朗 東京外国語大学総合国際学研究院教授

鈴木 均 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

辻田 俊哉 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

東野 篤子 筑波大学人文社会系准教授

平野 克己 日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授

[IGSDA]

Sayed Ghoneim, Senior Strategist and Chairman, Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA), Abu Dhabi/Cairo

Giuseppe Morabito, Director of the Rome Capital Civil Protection Department

John Siko, Co-founder and Director of Burnham Global

Marc Lavergne, Emeritus Professor at the Department of Arab and Mediterranean Studies, University of Tours and Emeritus Head Researcher at the National Center for Scientific Research

[オブザーバー]

外務省、経済産業省、内閣府等のオブザーバー及び、中東諸国の在外公館やジェトロ支所に勤務する 30 名が出席した。

【概要】

本特別会合は「サヘルおよびサブ・サハラ地域における安全保障上の脅威」をテーマに掲げ開催された。第一報告としてサイード・ゴネイム氏より、アメリカの中東政策の目標とバイデン政権が直面する諸課題に関して、第二報告としてジュゼッペ・モラビト氏より、内戦が続くリビアの動向に関して、第三報告としてジョン・シコ氏より、サヘルおよびサブ・サハラ地域におけるジハード主義の脅威に関して、第四報告としてマルク・ラヴェルニ氏より、サヘルおよ

びサブ・サハラ地域に蔓延するテロに関して報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

④ 第4回セミナー（中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会第5回会合）

【日時】

2021年3月12日（金）15：00～17：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】67名

〔中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会〕

[座長]

池内恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[幹事・副幹事]

立田由紀恵（幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

田中周（副幹事） 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

狩野希望（幹事助手） 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

[委員]（五十音順）

今井 宏平 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友

柿崎 正樹 テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部上級准教授

小林 周 日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

齋藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

鈴木 均 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

辻田 俊哉 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授

山尾 大 九州大学比較社会文化研究院准教授

[IGSDA]

Sayed Ghoneim, Senior Strategist and Chairman, Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA)

Ahmed M. El Dereiny, Presenter and the Head of Documentary Unit at DMC Network, Cairo, Egypt “The New Generation of Egyptian Media: The Empire Strikes Back?”

Mohamed Elguindy, Cyber Security Expert, TV Presenter, Cyber Security Advisor to the Assista

nt of the Prime Minister of Egypt and Digital Transformation Expert, Public Prosecution Office, Egypt

Sameh S. Ali, Global Health Security Expert and Head of the Research Unit of Oncology, Children's Cancer Hospital 57357 in Cairo “Middle Eastern Responses to COVID-19 Crisis”

〔オブザーバー〕

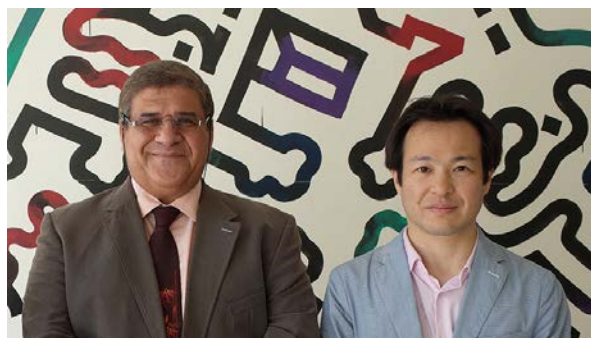
日本側より外務省、経済産業省、内閣府、中東諸国の在外公館やジェトロ支所に勤務する 30 名が、エジプト側より 20 名が出席した。

【概要】

本会合は「エジプトが直面するセキュリティ問題の最前線：メディアの世代交代、サイバー攻撃、中東の公衆衛生危機」をテーマに掲げて開催された。第一報告としてサイド・ゴネイム氏より、サイバー・セキュリティ、エピデミック、フェイク・ニュース等の新たな安全保障上の脅威に関して、第二報告としてアフメド・エル・ドレイニー氏より、エジプトのメディアの最新動向とその挑戦に関して、第三報告としてモハメド・エルギンディー氏より中東で増加するサイバー犯罪に関して、第四報告としてサメ・アリ氏より、COVID-19 に対する中東の反応に関して報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

⑤ IGSDA との協定締結

2021 年 2 月 25 日、IGSDA の Dr. Sayed Ghoneim 理事長と ROLES（※詳細は後述）代表の池内教授は、1)研究員の派遣、2)共同研究の実施、3)共同講義及びシンポジウムの開催、4)学術情報や文献の情報共有、に関する学術交流協定を締結した（<https://igsda.org/?p=3620>）。



（５） イスラエル・ウィーク

2021 年 3 月 1 日－5 日に、ROLES 主催で「イスラエル・ウィーク」と称する 6 つのオンライン・シンポジウム及び講演会を開催した。本シンポジウム及び講演会では、イスラエルとアラ

ブ諸国の国境正常化、「アブラハム合意」の背景にある宗教思想史など国際政治の現状とその文明史的背景に関わるものから、デジタルヘルス技術によるイノベーション・起業、ワクチン接種政策、サイバー・セキュリティ、科学とデザインなど、イスラエルが先端を走る諸分野の最先端の専門家を集めて開催した。詳細は以下の通りである。

- ① オンライン・シンポジウム # 1 「イスラエルと湾岸諸国・北アフリカのアラブ諸国による国交正常化」

【日時】

3 月 1 日(月) 16:00-18:00

【参加者】 128 名

〔開会挨拶〕

ヤッファ・ベン・アリ

在日本イスラエル大使

〔報告者〕

ニル・ボムス (Nir Boms)	テルアビブ大学モシェ・ダヤン・センター リサーチ・フェロー
エリーネ・ローゼンハルト (Eline Rosenhart)	テルアビブ大学モシェ・ダヤンセンター 協力研究員
ダニエル・ジーゼンワイン (Daniel Zisenwine)	テルアビブ大学モシェ・ダヤンセンター 協力研究員
ジョシュア・クラスナ (Joshua Krasna)	テルアビブ大学モシェ・ダヤンセンター リサーチ・フェロー
ブランドン・フリードマン (Brandon Friedman)	テルアビブ大学モシェ・ダヤンセンター 主任研究員

〔司会〕

池内 恵

東京大学先端科学技術研究センター・教授

日本、イスラエル、オランダ、デンマーク、オーストラリア、エジプト、英国、オーストラリア、UAE、スペイン、イタリアからの視聴があった。

【概要】

冒頭、アリ大使より開会挨拶があり、続いてボムス・フェローより "Gulf States and the Normalization with Israel"、ローゼンハルト研究員より "Moroccan and the Maghreb Countries' Relationship with Israel"、ジーゼンワイン研究員より "Egypt, Jordan and the Regional Security Implications of the Normalization Agreements"、クラスナ・フェローより "Egypt, Jordan and the Regional Security Implications of the Normalization Agreements"、フリードマン主任研究員より "Israeli Normalization with Gulf and North African Arab States" と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論を行った。本シンポジウムでは、「アブラハム合意」の背景や中東地域への

影響についての分析と評価について紹介され、日本の対中東政策へのインパクトについて議論された。

② オンライン・シンポジウム # 2 「STEM&STEAM 教育：国際協働に向けて」

【日時】

3 月 2 日(火) 16:00-17:30

【参加者】 58 名

〔報告者〕

カリン・マイヤー・ルビンスタイン (Karin Mayer Rubinstein) イスラエル先端技術産業 (IATI) CEO
ヤイル・ベン・ホリン (Yair Ben – Horin) ORT イスラエル プロジェクト・マネージャー兼カリキュラム担当員
川越 至桜 東京大学生産技術研究所・准教授

〔司会〕

アリエ・ローゼン (Arieh Rosen) 在日本イスラエル大使館 科学文化理事官

〔討論者〕

浅野 大介 経済産業省 サービス政策係長、教育産業室長
ヨエル・ロスチャイルド (Yoel Rothschild) ORT イスラエル局長補佐、R&D・トレーニング総務主任
ミハル・ビラン (Michal Biran) ORT イスラエル R&D センター所長

日本、イスラエル、シンガポール、米国、エジプトからの視聴があった。

【概要】

ルビンスタイン CEO より「Israel Advanced Technology Industries (IATI)の組織の紹介、および IATI による STE(A)M 教育への取り組みについて」、ホリン氏より「ORT Israel による STE(A)M 教育への取り組み、および中学校における iSTEAM 教育の実践について」、川越准教授より「東大次世代育成オフィス (ONG) における STEAM 教育プランについて」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

本シンポジウムでは、次世代中心の STE(A)M 教育プロジェクトの主な活動と課題を共有するとともに、国内や海外との協働促進に向けた取組のあり方を参加者と共に検討した。なお、STE(A)M とは、「Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、(Arts (芸術

等))、Mathematics (数学)」の頭文字を取った造語であり、これらすべての知識を統合的に学ぶ教育アプローチを意味する。

③ オンライン・シンポジウム # 3 「科学とデザインから考える創発の仕組み」

【日時】

3月3日(水) 16:00-18:00

【参加者】75名

〔報告者〕

シュロモ・マグダシ (Shlomo Magdassi)

リアット・セガル (Liat Segal)

芸術家

マリン・ゾレア (Marine Zorea)

高等工芸大学博士課程大学院生

ガイ・ブランダー (Guy Blander)

ベツアルエル美術デザインアカデミー (エルサレム)

ナオミ・スレイニー (Naomi Slaney)

ベツアルエル美術デザインアカデミー (エルサレム)

ム)

〔モデレーター、コーディネーター〕

松永 行子 東京大学生産技術研究所准教授

ロミ・ミクリンスキー (Romi Mikulinsky)

ベツアルエル美術デザインアカデミー工業デザイン修士課程主任

マイルス・ペニンントン (Miles Pennington)

東京大学生産技術研究所教授

ユーリ・クレバノフ (Yuri Klevanov)

東京大学生産技術研究所 DLX デザインラボ研究員

本間健太郎 東京大学生産技術研究所

空間デザイン数理分野 准教授

日本、イスラエル、米国、エジプト、ロシア、トルコ、ドイツ、イタリアから視聴があった。

【概要】

マグダシ氏より“3& 4D Printing: The Next Manufacturing Revolution”、ゾレア氏より“Soundscape Design for Future Elder Homes”、ガイ・ブランダー氏及びナオミ・スレイニー氏より“Designing Near-Future Interaction in Autonomous Public Transportation”と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。本シンポジウムでは、どのような文化・精神・仕組みがイスラエルをスタートアップ大国、技術大国へと発展させたのかを探るべく、イスラエルの科学、デザイン、アートの専門家を招いてイスラエルの社会と大学の仕組みについての紹介がなされた。

④ オンライン・シンポジウム # 4 「緊急事態への準備とデジタルヘルス・エコシステ

ム： COVID-19 への対応を中心に」

【日時】

3 月 3 日(水) 18:30-20:00

【参加者】 73 名

〔報告者〕

アシェル・イエシャイフ・サルモン (Asher Yeshaihu Salmon) イスラエル保健省国際関係部長
ヨアブ・フィッシェル (Yoav Fisher) ヘルス IL デジタルヘルスケア技術革新主任

〔司会〕

池内恵

〔討論者〕

イスラエル・ストゥルロブ (Israel Strulov) 駐日イスラエル大使館臨時代理大使
松本 理恵 経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課 (IT イノベーション課) 課長補佐 (統括)

日本、イスラエル、米国、英国、ウクライナ、エジプト、台湾から視聴があった。

【概要】

サイモン部長より「COVID-19 ワクチン政策計画について」、フィッセル主任より「イスラエルにおけるデジタルヘルスケア・エコシステムおよび COVID-19 に対するヘルス IL の対処について」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。本シンポジウムでは、世界でも速いペースでワクチン接種が進むイスラエルの政策や、デジタルヘルスケアの分野で先行するイスラエルの取組について、現状と課題を共有するのみならず、緊急事態に対する準備と対応のあり方や、デジタルで持続可能かつレジリエントなエコシステムを形成するための方法を参加者と共に模索した。

- ⑤ オンライン・シンポジウム # 5 「デジタルトランスフォーメーションと重要・新興技術に関するセキュリティリスク」

【日時】

3 月 4 日(木) 16:00-18:00

【参加者】 99 名

〔報告者〕

リオル・タバンスキー (Lior Tabansky) テルアビブ大学ラバトニクサイバーリサーチセンター、研究開発主任

ラミ・エフラティ (Rami Efrati) イスラエル国防軍 准将

土屋 大洋 慶應義塾大学・総合政策学部長、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科・教授

秋山 信将 一橋大学大学院法学研究科教授、国際・公共政策大学院院長

日本、イスラエル、米国、ロシア、フランス、イタリア、シンガポール、デンマーク、ドイツ、エジプト、中国（香港）、ルワンダ、英国より視聴があった。

【概要】

タバンスキー主任、エフラティ准将より、イスラエルのサイバーセキュリティ戦略の特徴及びサイバーセキュリティ脅威に対するイスラエルの対策について、土屋教授、秋山教授より日本を取り巻くサイバーセキュリティ脅威の現状と日本の政策、今後の国際協力のあり方、について報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

- ⑥ オンライン特別講演「アブラハムー神教の比較研究：ヒューリスティックな利得と認知的陥穽」

【日時】

3月5日(金) 16:00-17:30

【参加者】85名

〔講演者〕

ギイ・ストロムザ (Guy Stroumsa) ヘブライ大学名誉教授、オックスフォード大学名誉教授

〔司会〕

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター・教授

【概要】

ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教などは「アブラハムの宗教」としての連続性や類縁性を有しているが、それらの宗教やコミュニティの間の相互関係は、近代のアラブ・イスラエル紛争の文脈では、同族間の敵対関係の神話的根源や象徴として扱われことがあるが、近年は宗教間対話の文脈や、イスラエルとアラブ諸国との国交正常化の文脈で、親和性の根拠として言及されることも多くなっている。このように大きな政治性を秘めた「アブラハムの宗教」という概念は、どのように形成され、研究されてきたかについて、ストロムザ教授より特別講演が行われた。

(6) 中国・権威主義体制に関する分科会東南アジア班による国際ワークショップの開催

中国・権威主義体制に関する分科会は中国班、ロシア班、北朝鮮班、東南アジア班に分かれて活動を行っているところ、この度、東南アジア班（班長：鈴木絢女委員）にて、米国、中国よりゲストを招き、国際ワークショップを開催したところ、詳細は以下の通り。

【日時】

2021年2月26日（金）13:00～15:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者】29名

〔モデレーター〕

鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

〔登壇者〕

Alvin Camba, Assistant Professor, Korbel School of International Studies at the University of Denver/ Ph.D. Candidate, Johns Hopkins University

Bi Shihong（畢世鴻）, Professor, School of International Studies, Yunnan University)

〔出席者〕

（中国・権威主義体制に関する分科会）

東南アジア班委員

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

その他委員

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会

平野 克己 日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員

齋藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

その他、外務省より 14 名が、雲南大学より学生 1 名が出席した。

【概要】

冒頭、東南アジア班班長の鈴木絢女委員より本会合の趣旨説明がなされた。続いて、第一報告としてアルビン・カンバ氏より、東南アジア諸国に対する中国の対外直接投資戦略と各国のリーダーシップの関係性の分析に関して、第二報告として畢世鴻氏より、一帯一路構想（BRI）における中国の ASEAN 政策に関して報告がなされた後、出席者間で討論が行われた。

（7） その他の海外シンクタンクとの連携

- ROLES は、小泉悠東京大学先端科学技術研究センター特任助教を中心に、ロシア外務省附属モスクワ国際関係大学（MGIMO）国際関係研究所（IIS）との提携協定に関する協議を進めている。
- また、インドのネルー大学ロシア研究センターとの間で QUAD に対するロシアの政策に関する合同ワークショップを企画中であり、今年 7 月に実施予定である。
- その他、小泉悠東京大学先端科学技術研究センター特任助教はブリュッセル自由大学欧州研究所マッテラウアー研究副学部長との意見交換をオンラインで行った。

3. 日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画

（1） 英語でのシンポジウム・セミナーの広報の実施（ROLES, RCAST）ウェブサイト

上記 2. に記載した各種シンポジウム・セミナー等に関して、東京大学先端科学技術研究センターの英語版ウェブサイトにて告知した。

URL : <https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/news/events/index.html>



NEWS

EVENTS

Activity Reports

Jobs

Events

2021

Select



April 25, 2021 21:00 - 22:30

[Special Lecture on Quranic and Shi'ite Studies by Prof. Mohammad Ali Amir-Moezzi](#)

Venue : Zoom meeting (URL will be sent to registered participants)



March 12, 2021 15:00 - 17:00

["Frontiers of Security the Present Day Egypt is Faced With: Generational Transformation of Media, Cyber Attacks and Public Health Crisis in the Middle East"](#)

Satoshi IKEUCHI



March 5, 2021 16:00 - 17:30

[Israel Week @ UTokyo Komaba Research Campus - Special Lecture on "The Comparative Study of the Abrahamic Religions: Heuristic Gains and Cognitive Pitfalls"](#)

Venue : Online via Zoom (URL will be sent to registered participants)

Satoshi IKEUCHI

さらに、本補助金で立ち上げた大学内シンクタンク ROLES（詳細は4.（1）を参照）ウェブサイト英語版でも英語版のイベント広報の英語版を掲載しているが（下図参照）、次年度に英語圏の読者にとって使いやすいユーザーインターフェースに改修し、より積極的に英語による広報を行っていく。

ROLES

About Us

Members

Event

Publication

Video



Events

Matched Contents: 10

2021.03.12 (Fri.)

Seminar

["Frontiers of Security the Present Day Egypt is Faced With: Generational Transformation of Media, Cyber Attacks and Public Health Crisis"](#)

Example

#イスラエル

#STEM教育

2021.03.05 (Fri.)

Lecture

[Israel Week | Online Special Lecture "The Comparative Study of the Abrahamic Religions: Heuristic Gains and Cognitive Pitfalls"](#)

#tradition #religion #イスラーム教 #キリスト教 #ユダヤ教 #Abrahamic Religions

#STEM

#Israel

2021.03.04 (Thu.)

Symposium

[Israel Week | Online International Symposium #5: Managing Security Risks of Digital Transformation and Emerging Technologies](#)

#イスラエル #Israel #Security #Cybersecurity #サイバー脅威 #サイバーセキュリティ #イスラエルと日本

#Security

#Cybersecurity

#サイバー脅威

#サイバーセキュリティ

2021.03.03 (Wed.)

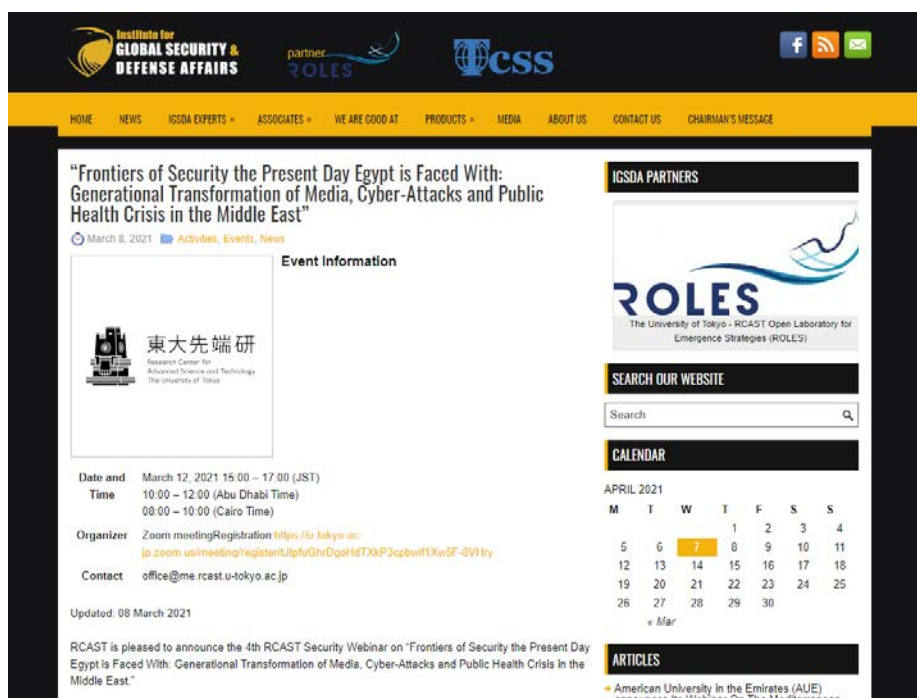
[Israel Week | Online International Symposium #3: SCIENCE inspires DESIGN inspires SCIENCE: Mechanism of](#)

#イスラエルと日本

English

事業広報の一例（3月12日開催のIGSDA との共同研究会の広報）

URL: <https://igsda.org/?p=4130>



(2) 本研究会委員による英語（外国語）での発信実績（シンポジウム・セミナー）

① 中国・権威主義体制に関する分科会

日付	登壇者 (敬称略)	報告題目 (論題含む)	会議名	URL	開催機関
2020年11月27日	川島 真		Japan-Taiwan Dialogue 2020	http://www.iips.org/en/publications/2020/11/30145721.html	中曽根康弘世界平和研究所
2020年10月17日	松田 康博	日本的台湾研究 與日本台湾学会：回顧與展望	台湾文学学会 2020年度學術研討會		台湾文学学会
2020年11月6日	松田 康博	專題演講 I 戰後 台灣海外政治運動 史研究的意義	第九屆政治大學 數位史料與研究論壇：戰 後海外台灣政治運動		國立政治大學 圖書館・國立 政治大學台灣 史研究所・國 立台灣歷史博 物館・財團法 人史明教育基 金會
2020年12月11日	松田康博	US-Japan-China Relations Post 20 20 & Implications for the Auto Industry	US-Japan-China Relations Post 2020 & Implications for the Auto Industry	https://www.spf.org/en/jpus/ideas-and-analyses/20200113_03.html	笹川平和財団
2021年2月3日	松田康博		Rising Stakes i	https://www.rip	平和安全保障

日			n the Western Pacific: Countering China's Territorial Ambitions	s.or.jp/archives/2607/	研究所
---	--	--	---	------------------------	-----

② 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会

日付	登壇者 (敬称略)	報告題目 (論題含む)	会議名	URL	開催機関
2020 年 10 月 29 日	池内恵	Paradigmatic Change in the Middle East Regional Power Relations and the Role of Asian Powers	“Pluralistic Middle East” Lecture Series	http://ias.tsinghua.edu.cn/en/diversified-middle-east-02/	Institute for International and Area Studies (IIAS), 清華大学
2020 年 10 月	立田由紀恵	Imagining the Positive Future: How Bosnia May Restore the Peaceful Coexistence of Religions	Annual Meeting of Society for the Scientific Study of Religion		
2020 年 6 月 16 日	廣瀬陽子	The Biggest Risks Post COVID-19 and What to Do About Them	Valdai Asia Conference “Prospects for a New Bipolarity and Its Impact on Asia-Pacific”	https://valdaiclub.com/multimedia/video/bipolarity-asia-pacific/	Valdai Club
2021 年 2 月 26 日	東野篤子	V4-China and V4-Japan relationships: Geopolitical perspectives	Economic cooperation and investment between the V4 and Japan	https://kki.hu/en/economic-cooperation-and-investment-between-the-v4-and-japan/	The Institute for Foreign Affairs and Trade
2021 年 2 月 16 日	東野篤子	Japan and Ukraine: how to secure effective global partnership	Forum “Asia Strategy in Action. The Role of Ukraine-Japan Cooperation”	http://neweurop.org.ua/en/forum-azijska-strategiya-v-diyi-rol-ukrayinsko-yaponskoyi-spivpratsi/	New Europe Center, Ukraine
2021 年 2 月 5 日	東野篤子	Japan and the European Union: Shared Interests and Cooperation	Japan and the European Union: Shared Interests and Cooperation	https://www.frstrategie.org/en/publications/notes/japan-and-eu-shared-interests-and-cooperation-2021	Fondation pour la recherche strategique
2020 年 7 月 16 日	東野篤子	CEE/EU-China relationship from a Japanese perspective	Asia and Europe After the Pandemic: How to Deepen EU Japan Relations in Times of Global Uncertainty (		The Polish Institute of International Affairs (PISM)、日本国際問題研究所

③ 米国・既存秩序の動揺に関する分科会

日付	登壇者	報告題目（論題含む）	会議名	URL	開催機関
2020 年 10 月 6 日	鶴岡路人		The role of China and the US in a post-Covid-19 context: a challenge for Japan, Europe and the Indo-Pacific	https://www.frstategie.org/en/events/2020-10-06-role-china-and-us-post-covid-19-context-challenge-japan-europe-and-indo-pacific	The Foundation for Strategic Research
2020 年 11 月 3 日	鶴岡路人		Maritime Security in the Indo-Pacific: an opportunity for Australia, Japan and Europe?	https://www.ies.be/maritime-security-indo-pacific-opportunity-australia-japan-and-europe	The Institute for European Studies
2020 年 12 月 4 日	鶴岡路人（モデレーターとして登壇）		Is the EU becoming capable of global politics now?	https://www.kas.de/ja/web/japan/veranstaltungen/detail/-/content/together-make-europe-strong-again	Konrad Adenauer Stiftung, 駐日ハンガリー大使館
2020 年 12 月 21、22 日（登壇者は 21 日）	鶴岡路人	The “Quad”, D-10, and the Indo-Pacific – Where is Israel in the Evolving Western Strategy towards China?	The 5th Annual Conference on Israel’s China Policy “The U.S.-China Rivalry and Israel’s Strategic Landscape”	http://sino-israel.org/elementor-1246/	Sino-Israel Global Network & Academic Leadership
2021 年 2 月 19 日	鶴岡路人		Deepening Franco-British strategic cooperation in the Indo-Pacific	https://www.chathamhouse.org/events/all/research-event/deepening-franco-british-strategic-cooperation-indo-pacific	Chatham House
2021 年 3 月 15、17、19 日（登壇者は 15 日）	鶴岡路人	US-Japan security alliance: possible tips for Ukraine	Ukrainian-Japanese online discussions	http://neweuropae.org.ua/en/anons-ukrayinsko-yaponski-onlajn-	New Europe Center

				dyskusiyi/	
2021 年 3 月 18 日	鶴岡路人	The US-Japan Alliance: from Trump to Biden	The Indo-Pacific in the post-Trump era: Expectations and Challenges	https://www.iir.cz/en/article/the-indo-pacific-in-the-post-trump-era-expectations-and-challenges	The Institute of International Relations Prague
2021 年 3 月 19 日	鶴岡路人		Japan's Asian competitors (China, South-Korea) in the Visegrad countries	https://kki.hu/en/event/japan-asian-competitors-china-south-korea-in-the-visegrad-countries/	The Institute for Foreign Affairs and Trade
2021 年 3 月 30 日	鶴岡路人		米国から見た日欧安全保障協力	https://www.spf.org/seminar/list/20210330.html	公益財団法人笹川平和財団
2020 年 7 月 23 日	小谷哲男		QUAD or SQUAD?	https://www.gatewayhouse.in/events/quad-or-squad/	Gateway House
2020 年 10 月 12 日	小谷哲男	Indo-Pacific strategies: The perspectives of key U.S. allies and partners	2020 Conference On Taiwan In The Indo-Pacific Region	https://www.hoover.org/events/security-and-defense-cooperation-indo-pacific?fbclid=IwAR36l2naoW4Zdr6ZvGhrgSsHIMFIZ68wk3suMm3CHzNB2VwbGPP99LOLE8	Hoover Institution
2020 年 12 月 3 日	小谷哲男		The US-Japan Alliance: Priorities for 2021	https://www.americanprogress.org/events/2020/11/16/492906/us-japan-alliance-priorities-2021/	The Center for American Progress
2020 年 12 月 8 日	小谷哲男	The Impact of the U.S. Presidential Election Result on the Situation of Indo-Pacific and the Taiwan Strait	2020 Taiwan-US-Japan Trilateral Indo-Pacific Security Dialogue “Challenges and Opportunities in the Indo-Pacific Region and the Taiwan Strait in 2020 & Beyond”	https://www.pf.org.tw/article-pfch-2038-6790	The Prospect Foundation

2020 年 12 月 15—17 日（登 壇者は 16 日）	小谷哲男	Achieving Energy Security for the Asia-Pacific	The Annual U.S.-Japan Roundtable Virtual Washington Conference	https://www.atlanticcouncil.org/event/howard-baker-forum-us-japan-roundtable/	The U.S.- Japan Roundtable, the Howard Baker Forum, and the Atlantic Council
2021 年 3 月 3 日	小谷哲男		2021 U.S.-Japan Security Seminar	https://www.csis.org/events/2021-us-japan-security-seminar	CSIS, 日本国際問 題研究所
2020 年 10 月 15 日	中山俊宏		Regional Perspectives on the 2020 US Presidential Elections	https://www.ycaps.org/blog/ycaps-jump-panel-discussion-regional-perspectives-on-the-2020-us	The Yokosuka Council on Asia-Pacific Studies
2020 年 10 月 20 日	中山俊宏		The 2020 U.S. Presidential Election: How Will It Affect U.S.-Japan Relations?	https://www.japansociety.org/event/the-2020-us-presidential-election-how-will-it-affect-us-japan-relations-1	
2020 年 11 月 5 日	中山俊宏		The US Election: Implications for International Trade	https://www.japansociety.org.uk/event?event=149&eventcat=2 https://www.youtube.com/watch?v=aRWYqFfASw0	Japan Society(Lon don)
2020 年 11 月 18 日	中山俊宏	East Asia Responds to U.S. Election Results	Program on U.S.-Japan Relations Seminar (via Zoom)	https://wcfia.harvard.edu/event/program-us-japan-relations-seminar-11-18-20	the Weatherhea d Center for Internationa l Affairs(Har vard University)
2021 年 1 月 12、19 日（登 壇者は 12 日）	中山俊宏	Challenges in Domestic Politics	“U.S.-Japan Relations: Policy Challenges for the Biden Administration” Part1: National Security and Politics	https://jpsi.indiana.edu/news-events/news/2021-01-19-recap-brookings-two-part-webinar-series-us-japan-relations.html	21 st Century Japan Politics and Society Initiative(H amilton Lugar School of Global and Internatinal

					Studies, Indiana University)
2021 年 1 月 28 日	中山俊宏（モ デレーターと して登壇、日 英同時通訳あ り）		トランプ後の アメリカ外 交：東アジア への含意	http://www.korc.keio.ac.jp/news/20210128000394.html	慶應義塾大 学グローバ ルリサーチ インスティ テュート
2021 年 2 月 25—27 日（登 壇者は 26 日）	中山俊宏（モ デレーターと して登壇、日 英同時通訳あ り）	オープニング全 体会合：米中関 係	第 2 回東京グ ローバル・ダ イアログ	https://www.jiia.or.jp/TGD/tgd2021/	日本国際問 題研究所
2021 年 3 月 2 日	中山俊宏		Inside the White House: U.S.- Japan Relations under President Biden	https://www.japansociety.org/event/inside-the-white-house-us-japan-relations-under-president-biden	
2021 年 3 月 19 日（日本時 間）	中山俊宏		A Resilient U.S. - Japan Alliance In 2021 And Beyond	https://www.japansociety.org/event-4139207	The World Affairs Council of Pittsburgh
2020 年 9 月 29 日	待鳥聡史	Transformations of Japanese Politics and the Abe/Suga Administrations	Japan After Abe	https://dajf.org.uk/event/japan-after-abe	大和日英基 金
2020 年 11 月 26、27 日（登 壇者は 26 日）	瀧井一博		Symposium on the Occasion of the 130th Anniversary of the Opening of the Japanese Parliament: Global Views of Japanese Parliamentarism in the Late 19th and Early 20th Centuries	https://www.dijtokyo.org/event/symposium-on-the-occasion-of-the-130th-anniversary-of-the-opening-of-the-japanese-parliament-global-views-of-japanese-parliamentarism-in-the-late-19th-and-early-20th-centuries/	German Institute for Japanese Studies
2021 年 2 月 18 日	杉田弘毅（日 英同時通訳）	インド太平洋地 域におけるエネ ルギー転換 エ ネルギー転換を 支える鉱物資源 と新エネルギー	令和 2 年度 アジア・エネ ルギー安全保 障セミナー 「自由で開か れたインド太 平洋とエネ ルギー・鉱物資 源の現在」	https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecom/es/page23_003299.html	外務省
2021 年 3 月 26	村田晃嗣		US-Japan Now:	https://www.jas	The Japan-

日（日本時間）			Geostrategic Impacts on a New World	georgia.org/event-4197449	America Society of Georgia,
---------	--	--	-------------------------------------	---------------------------	-----------------------------

④ 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会

日付	登壇者（敬称略）	報告題目（論題含む）	会議名	URL	開催機関
2020 年 12 月 17、18、22 日	小泉 悠	- Session 1. "Regional Dynamics in the Asia-Pacific and Northeast Asia (North Korea) and 2030 Scenarios" - Session 2. "The New Arms Race, Short and Intermediate-Range Missiles and Missile Defense in the Asia-Pacific Region" - Session 3. "Arctic Economic and Security Agenda"	日米露三極有識者対話		
2021 年 2 月 19 日	小泉 悠	ロシアの対日安全保障政策について（特に INF、北方領土、中国等）	ブリュッセル自由大学欧州研究所マッテラウアー研究副学部長との意見交換		
2021 年 3 月 5 日	小泉 悠	核兵器の唯一目的化に関するパンダ氏の最近の論考に	カーネギー財団アンキット・パンダ主任研究員との意見交換		

		について			
2020 年 12 月 5 日	中井 遼	A List Experiment of Anti-immigrant Sentiments among French National Front Supporters: Are Radical Right Party Supporters Xenophobes or Merely Honest Respondents?	Virtual Colloquium, Disruption, Crisis, Opportunity: Whither Democratic Governance?		International Political Science Association
2021 年 2 月 17 日	栗原響子	Japan's Strategic Communications	#StratComTalks	https://stratcomcoe.org/stratcomtalks-japans-strategic-communications	NATO STRTACOM COE
2020 年 12 月 15 日	小宮山 功一郎	Offensive Cyber Operations	東京大学大学院での英語講義		東京大学大学院
2020 年 6 月 16 日	小宮山 功一郎	CSIRTs: Deglobalization of Security Incident Response Regime	KGRI Endowed Course での英語講義	https://www.kgri.keio.ac.jp/en/endowed-courses/index.html	慶應義塾大学
2020 年 7 月 23 日	村野将	Pushing Back Against Chinese and North Korean Missile Threats: Strengthening the U.S.-Japan Deterrence Strategy and Joint Missile Defense Posture	ハドソン研究所でのワークショップ	https://www.hudson.org/research/16270-transcript-pushing-back-against-chinese-and-north-korean-missile-threats-strengthening-the-u-s-japan-deterrence-strategy-and-joint-missile-defense-posture	ハドソン研究所

(3) メディア・書籍での発信実績

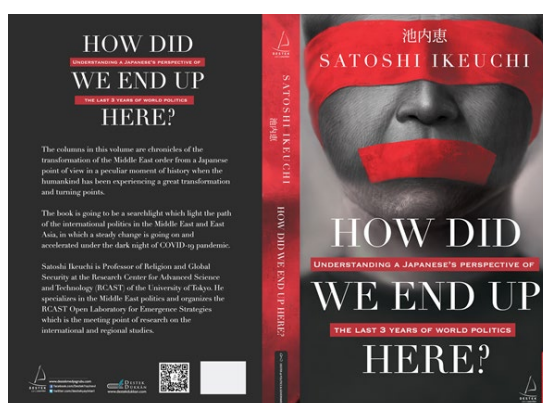
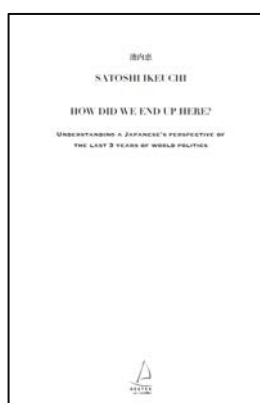
事業統括者である池内教授は、以下のとおり英語・アラビア語で継続的にメディアに発信している。

- ・ アラビア語にて UAE の Alroeya 紙毎週日曜日にコラムを連載しており、2020 年度はアラビア語で 52 本、日本の立場からの国際政治情勢・インド太平洋戦略に関する解説を行っ

た（記事一覧は以下 URL を参照）。

URL: <https://www.alroeya.com/author/3220/%D8%B3%D8%A7%D8%AA%D9%88%D8%B4%D9%8A-%D8%A5%D9%8A%D9%83%D9%88%D8%AA%D8%B4%D9%8A>

- ・ 上記コラムの英語版を、UAE アブダビのシンクタンク IGSDA のウェブサイトに掲載している。同コラムは、3 月末にイスタンブールで Satoshi Ikeuchi, How Did We End Up Here: Understanding A Japanese's Perspective of the Last 3 Years of World Politics, Istanbul, Destek Publishing, March 2021.として電子出版され（左写真）、現在紙の書籍として出版準備中である（右写真）。



4. 国民の外交・安全保障問題に関する理解増進

(1) ROLES ウェブサイト立ち上げ

当センターは、事業計画書に記載のとおり、大学が真の意味でのシンクタンクとして社会で役割を発揮するための舞台設定として、2020 年 9 月に「東大先端研創発戦略研究オープンラボ（ROLES: RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies）」を発足させた。ROLES は、東大の附置研究所である先端研の豊かなリソースを活用し、大学の社会の中での役割（Roles）を問い直し、本来の意味での「シンクタンク」として、そのあり方を再確認し、再定義していく。また、「オープンラボ」とは、部局、学科や研究室を超えて、それらに属す研究者が、研究上で自由に交差し、協力することのできる場を指す。

ROLES では、大学外から、今現在の緊急な国際問題に密接に結びついたさまざまなプロジェクトを呼び込み、社会との接点と相互交流を、積極的に生み出していき、国内官庁や企業を始め、諸外国の大学やシンクタンク、各国の政府機関や企業との関係を積極的に構築していく予定である。



ROLES 公式ウェブサイト（上図参照）では、本補助金事業に関する活動や研究成果を随時発信していく。昨年度中旬から構築を開始し、2月にリリースされたばかりであり、今も改良途中であるが、今後一層内容を充実させていく予定である。

URL: <https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

また、公開シンポジウムについては、You Tubeに ROLES チャンネルを設定し（下図参照）、随時発信している。現在のチャンネル登録者数は231名である。なお、11月15日開催の米国大統領選挙に関する公開シンポジウムについては、大統領選挙直後の分析であったため、開催後2週間限定の配信としたが、その間の視聴者数は1500名にのぼった。



URL: https://www.youtube.com/channel/UC8P_eA0Kc6hVeMcwS_W-GSw/videos

その他、Peatix のウェブサイトにも ROLES 専用の申込ページを設置しており、SNS によるフォロワー数は 1543 名である。同ページでは、ROLES によるシンポジウムやセミナーの開催案内を実施しており、フォロワーは最新の案内を受け取れるようになっている。

URL: <https://gsr-rcast.peatix.com/>



(2) 公開ウェビナーの開催

① 「ポスト・コロナ 新時代の国際秩序を考える—米中体制間競争と中東・ロシア—」

【日時】

2020 年 6 月 6 日 (土) 15:00-17:00

【開催形式】

オンライン (Zoom ウェビナー)

【参加者】1064 名 (一般参加者を含む)

〔登壇者〕

池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター 教授 (司会)
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科 教授)
坂元 一哉	大阪大学大学院法学研究科 教授

杉田 弘毅 共同通信 特別編集委員
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター 特任助教（コメンテーター）

【概要】

米中対立を基軸とし、ロシアやイスラーム勢力が繰り広げる「体制間競争」の現状と将来を考察した。

川島教授からは、中国による国際秩序の形成の試みを、内在的かつ批判的に検討し、「ポスト・コロナ」の時代の中国をめぐる国際関係の展開について、坂元教授からは、トランプ政権の掲げる米国のパワーと理念、及び歴史的視点から見た「ポスト・コロナ」時代における新たな国際秩序のあり方について、杉田編集委員からは、米国が体制間競争の主要な武器として行使するようになった経済制裁の事例（対中、対イラン、対露）について報告がなされた。これらの報告に対し、モデレーターの池内教授、コメンテーターの小泉特任助教からは、中東・イスラーム世界やロシア・旧ソ連地域の観点から「ポスト・コロナ」の時代の体制間競争の展開についてコメントがなされた。



② 「シンポジウム：権威主義体制の比較－多様性と共通性」

【日時】

2020 年 11 月 2 日（月）10：00～11：40

【開催形式】

オンライン（Zoom ウェビナー）

【参加者】376 名（一般参加者を含む）

〔登壇者〕

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授（司会）
今井 宏平 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

宇山 智彦	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻教授
小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター特任助教

【概要】

冒頭、司会の池内恵教授より挨拶がなされ、続いて川島真教授、宇山智彦教授、今井宏平研究員、小泉悠特任助教よりそれぞれ中国、中央アジア諸国、トルコ、ロシアの権威主義体制の特徴について報告がなされた。それを受けて、登壇者間で討論を行った。

公開ウェビナー「シンポジウム：権威主義体制の比較—多様性と共通性」

開催日 2020年11月2日(月曜日)10時00分～11時40分
 開催場所 オンライン開催
 主催 ROLES
 RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies
 東大先端研・創発戦略研究オープンラボ

今井 宏平 研究員
日本貿易振興機構アジア経済研究所

宇山 智彦 教授
北海道大学スラブ研究センター

川島 真 教授
東京大学大学院総合文化研究科
国際社会科学専攻

池内 恵 教授
東京大学先端科学技術研究センター

小泉 悠 特任助教
東京大学先端科学技術研究センター

問い合わせ先
東京大学先端科学技術研究センター グローバルセキュリティ・宗教分野専攻
office@ma.roast.u-tokyo.ac.jp

③ 「『トランプ時代』は何を残したのか？大統領選後の米国と世界を考える」

【日時】

2020年11月15日(日) 15:00～17:00

【開催形式】

オンライン (Zoom ウェビナー)

【参加者】420名 (一般参加者を含む)

〔登壇者〕

池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授 (司会)
坂元 一哉	大阪大学大学院法学研究科教授
杉田 弘毅	共同通信社特別編集委員
中山 俊宏	慶應義塾大学総合政策学部教授
村田 晃嗣	同志社大学法学部教授

【概要】

冒頭、司会の池内教授より趣旨説明があり、続く第1部では杉田特別編集委員の講演と池内

教授による小括、第2部では中山教授、村田教授による講演、さらに坂元教授による講演とコメントがなされ、これを受けて登壇者間で討論が行われた。



(3) コメンタリーの発信

ROLES ウェブサイトにおいて、以下の通りコメンタリーを発信した。なお、手に取ってもらいやすいように、プロのデザイナーを入れて編集した（下図参照）。

掲載日	氏名	タイトル
2021 年 3 月 25 日	東野 篤子	中東欧・中国関係の変質と「17+1」首脳会合
2021 年 3 月 30 日	小泉悠	新テクノロジーと安全保障の将来像 技術革新が秩序に及ぼすインパクトとその限界
2021 年 3 月 31 日	小宮山功一郎	サイバー空間と民主主義の断層

URL: <https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publications>



コメンタリー表紙

なお、以下のコメンタリーについても既に原稿は校正済みで、現在ウェブサイト掲載用にデザイン加工を進めており、終了しだい、順次掲載予定である。

氏名	タイトル
田中 周	新疆・ウイグル族をめぐる民族問題
岡本 隆司	東アジア漢語圏の歴史的「内在論理」——「琉球」を事例に
日下 渉	内政から見るフィリピンの外交 米中間を揺れ動くドゥテルテの目的は何か
田中 周	新疆・ウイグル族をめぐる民族問題
西山 美久	歴史認識に関するロシアの内在論理
松田 康博	習近平の軍事改革——権力集中、軍令・軍政分離、統合促進
宮本 悟	北朝鮮の内在論理: ナショナリズム形成と世界観の変化
池田 有紀美	量子技術と安全保障
山尾 大	岐路に立つイラク ——人民動員隊の拡大と経済危機、そして蔓延する不満——
松本 佐保	「アブラハム合意」に見る宗教と安全保障、そして経済とビジネス
池田 有紀美	量子技術と安全保障

(4) メディアでの報道

① 新潮社 Foresight への掲載 (2020 年 6 月 23 日)

2020 年 6 月 6 日に開催した公開ウェビナー「ポスト・コロナ 新時代の国際秩序を考える：米中体制間競争と中東・ロシア」の詳細を記した記事「『ポスト・コロナ』時代にどうなる

『米中関係』『中東・ロシア』【特別採録】東大先端研『白熱オンライン会議』（執筆者：池内教授）が新潮社 Foresight に掲載された。

URL: <https://www.fsight.jp/articles/-/47035>

② 京都新聞への掲載（2020年9月1日）

米国・既存秩序の動揺に関する分科会を延長した形で「ポストコロナ・ポストインバウンドの国際観光戦略」に関するタスクフォースを関西在住の委員を中心にした「関西クラスターPJ T」を形成し、その第1回会合（概要は本資料19ページ参照）を京都にて開催したところ、京都新聞にて取り上げられた（写真）。

